

事例紹介

兵庫県 尼崎市中学校

ICTを活用した効果的な学びの実現

尼崎市では、多くの学校で放課後にPC教室を開放してeライブラリを使った学習を行っています。また、教育委員会主導のもと、全中学校でeライブラリの効果的な活用方法の研究を行い、地域間で交流・情報交換をしました。今回はその研究の中から、学校ごとに工夫のある活用場面をご紹介します。

プリント 使い方いろいろ！中学校プリント教材

● 「授業支援プリント」として廊下に設置！

大庄北中学校では、eライブラリの単元別プリントを印刷し、「授業支援プリント」として各学年の廊下に並べています。

プリントは、各学年・各教科担当の先生が、定期考査のたびにテスト内容や生徒の状況に合わせて精選し、更新しています。

生徒たちは、**学習したいときに学習したい内容のプリントを自由に持ち帰り**、復習やテスト対策として日常的に利用しています。



● 15分でできる朝学習プリントとして

常陽中学校では、毎日の朝学習で15分程度の短時間でできるプリント教材を活用しています。**先生が学習進度に合った問題をeライブラリから選び**、生徒たちの学習の定着を図っています。

単元別プリントは基本・標準・発展の3つの難易度のプリントが用意されているため、**理解度に合わせた活用や段階利用が可能**となっています。

また、解答プリントに先生が解説を書き加えて、生徒の理解がより深まるようにする工夫も行っています。

ろうそく・凸レンズ・スクリーンを並べ、ろうそくとスクリーンの位置をいろいろと変えて実像をうつし出した。図のように、Cの位置にろうそくを、③の位置にスクリーンを置いたところ、実物のろうそくと同じ大きさの実像がはっきりとうつし出された。あとの問に答えなさい。なお、図の凸レンズの軸の目盛りはすべて等しく、1目盛りは10cmを表している。

ろうそく、凸レンズ、スクリーンの位置をそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

この凸レンズの焦点距離は何cmか。

③の位置にスクリーンを置き、実像をはっきりとうつし出すためには、ろうそくをどのようにすればよいか。次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ろうそくを図の位置よりも凸レンズに近づける。
イ ろうそくを図の位置よりも凸レンズから遠ざける。
ウ ろうそくを図のよりも小さいものにとりかえる。
エ ろうそくを図のよりも大きいものにとりかえる。

ろうそくAの焦点距離の2倍の位置にあるとき

ろうそくを近づけると、スクリーンは遠ざかる

▲ 先生手書きの解説つきのオリジナルプリント

● 入試に向けて、過去問&模擬試験にチャレンジ

小田中学校では、公立高校の入学試験対策として、3年生を対象に高校入試模擬試験プリントを使って実力チェックを行いました。

入試に向けて意欲がある時期に入試模擬試験を行うことで、生徒たちは自分の力を図ることができます。不正解の問題から、改めて**自分の不足している部分や苦手としている学習単元を発見・見直し**していきます。1,2年生の学習内容に戻って復習する生徒も多く、入試に向けて更に意識を高めていきました。

リスニングテスト(放送による問題)にしたがって答えなさい。

(問題1) 対話と質問を聞いて、答えとなるものを選びなさい。

No.1 ア イ

No.2 ア イ

No.3 ア イ

No.4 ア イ

H28 兵庫県 公立 社会 問題

1 兵庫県の人口は、平成27年(2015年)の人口に比べて、約10%増加した。これは、人口が増えていることを示している。このことについて、正しい記述はどれか。1つだけ選べ。

ア 人口が増えているから、兵庫県の人口は、平成27年(2015年)の人口よりも多い。

イ 人口が増えているから、兵庫県の人口は、平成27年(2015年)の人口よりも少ない。

ウ 人口が増えているから、兵庫県の人口は、平成27年(2015年)の人口と同じくらい多い。

エ 人口が増えているから、兵庫県の人口は、平成27年(2015年)の人口と同じくらい少ない。

● ドリルやプリントで主体的な学習活動

常陽中学校では毎週火曜日の放課後と土曜日学習の「常陽チャレンジ」で、武庫中学校では定期的にPC教室を開放して自主学習の時間に、eライブラリを活用しています。

どちらの学校でも工夫をしながら、**生徒が主体的にドリルやプリントを使った学習活動**を行っています。

基礎問題から復習として取り組み、応用問題へと発展させていけるため、学力向上に役立っています。



▲ 身を乗り出して取り組んでいます

● ふいかえり機能を使った生徒の感想

武庫東中学校では、放課後学習に参加した生徒が、eライブラリのふりかえり機能を使って、最後に感想を書きました。感想からも、生徒たちが意欲的に取り組んでいる様子が伺えます。

同中学校では**1年生のときに全員がeライブラリを体験する機会を設けている**ため、授業や放課後学習での活用もスムーズに出来るようになりました。

また、**放課後学習を開始した11月からは家庭でのeライブラリの活用も増加**しており、学習意欲の向上が見られました。

- 😊 英語で苦手な単語が少し覚えることができて良かったです。
- 😊 色々な教科の勉強がしっかりと出来ました
- 😊 普段の復習が出来たしパソコンでの学習も楽しかったのでまた家でも活用したいなと思います
- 😊 ドリルでの学習をして家のパソコンでもやりたいと思いました
- 😊 解説がわかりやすかった。
- 😊 理科や英語などのいろいろな単元をすることができました自分の苦手な単元を沢山できたので良かったです

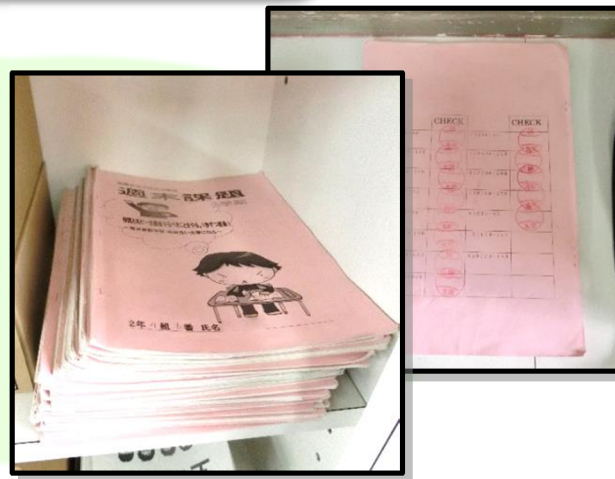
家庭 eライブラリを家庭学習に

● プリント教材を使った週末課題

小田北中学校では、家庭学習の定着を図るために、**プリント教材を利用して「週末課題」を作成**しています。冊子を作成して週末に全校生徒に配布し、週明けに答え合わせをしたものを提出させています。

先生方の呼びかけで、回数を重ねていくにつれて提出率が上がるようになりました。

また、**週末だけではなく平日も勉強する生徒が増え、家庭学習の時間が増加**しています。そのため、テストを重ねるごとに少しずつ点数の伸びが見られました。



● 学校便りや懇談会での案内で利用回数アップ！

尼崎市では各学校でeライブラリの家庭学習にも取り組んでいます。使い方の文書の配布や体験会の実施、学校便りでの案内など、各校で様々な工夫をしながら活用を広めています。

その中で最も効果があったのは、**懇談会や教育相談などの機会での告知**です。多くの学校で懇談などの場で保護者に再度案内することにより、学習回数の大きな伸びが見られました。

▼ 園田東中学校の例

告知後は学習回数が大幅に**アップ！！**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
eライブラリの学習回数	223回	45回	477回	409回	169回	144回	151回	172回	246回	594回
eライブラリの総学習時間	587分35秒	75分43秒	928分49秒	689分34秒	354分25秒	316分16秒	352分3秒	499分42秒	600分58秒	1517分41秒